

キャラクター名
エリィ・ジェターク

— プレイヤー名 —————

シンドローム	ウロボロス	ワークス	優等生(高等部)	カヴァー	高等部3年生
	ウロボロス				
オプショナル		年齢	18	性別	♀
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	42
出自	双子	経験	禁断の愛	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2		0			2	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	4		0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タク 消
変異種	P	N	
オーギュスト・ジェターカ	P 尊敬	N 悔悟	
ヨハン・ジェターカ	P 信頼	N 偏愛	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
最大財産P:	6	残り財産P:	

第三回 三事の内に三事

アカデミア高尙部三年の女生徒。
純血種(ノーブル)たる出自故の傲慢さと優秀さを持つ。他者、特に非オーヴァードに対しては見下しているとも取れる発言を自然体で行うが、それは彼らを庇護対象として見做しているが故の支配者の使命感の表れである。また、雑種(モングレル)に対しては見下すような物言いこそしないものの、やはり純血種たる者が上位指揮権を有し、雑種は使われる側である考えがあるため、自然と差別的に低い発言も行う。しかしいずれも庇護対象、もしくは実働要員へ向ける優しさが根底にあり、非オーヴァードを徒に虐げるような言動は決して行わない。典型的な高貴なる義務(ノブレス・オブリージュ)を掲げる貴族的な人種。こういった言動の一例として、一般的には非オーヴァードに対する蔑称として使われる「見放された者(フォーセイクン)」という言葉を彼女もまた用いるが、それは蔑む意図ではなく、いさばげくに見放された者は純血種が使者などないわくぼしのばいじやく者(ばいじやくしゃ)の意味である。だまし、多くの場合理解けされない。

なく、レイブットに先放されし者は純血皿が八音者となり殺す力のない者たちにいつの間にか死んでしまった。たにじ多くの場合理解はできない。一族は代々軍事産業を担っており、特にレネゲイドに関する兵器開発に長けていた。彼女もまたそういう兵器開発の逸材として期待されており、事実その能力もレネゲイドを介した兵器の最適化に特化している。このため、直接戦闘力こそ高くはないものの、武装集団を指揮する際の戦力は高く、ランクAの評価をされている。なお生徒会等の役職に就く力は本人の意欲も含めて十分あるものの、実家の仕事の手伝いのため多忙であり、時間的余裕がないために役職を有していない。元々双子がいたが出生時に死んでしまっており、彼女だけが生き残った。

立左絵：MDR(ドリコロ)